

学生とシニアの対話 in 宮城教育大学 事後アンケート結果

(2023年6月13日(講演)及び20日(対話)開催 回収票:2名)

アンケート結果取纏め: 本田 一明

アンケート回答者の内訳

学生	2						
学部3年	2						
理系	2	文系	0				
原子力系専攻		原子力専攻以外		教育系	2	教育系以外	
就職	2	進学	0				

□ 今回の対話会における講演や対話について伺います。

1. 講演について伺います。

(1) 講演の内容は満足のものでしたか?

2	0	0	0
とても満足	ある程度満足	やや不満	大いに不満

(2) 事前に聞きたいと思っていたことは聞きましたか?

2	0	0	0
十分聞くことができた	ある程度聞くことができた	あまり聞けなかった	全く聞けなかった

(3) やや不満、大いに不満/あまり聞けなかつた、全く聞けなかつた理由は? (複数回答可)

0	0	0	0	2	0
希望内容が聞けなかつた	説明が分かり難かつた	内容が難かつた	説明時間不足	質問時間不足	その他

(4) 今回の講演内容以外で聞きたいテーマがありましたら自由に書いてください。

(聞きたいテーマ: 記載なし)

2. 対話について伺います。

(1) 対話の内容は満足のものでしたか?

1	1	0	0
とても満足	ある程度満足	やや不満	大いに不満

(2) 事前に対話したいと思っていたことは対話出来ましたか？

0	2	0	0
十分に対話が出来た	ある程度対話が出来た	あまり対話出来なかった	全く出来なかった

(3) やや不満、大いに不満/あまり対話出来なかった、全く対話出来なかった理由は？（複数回答可）

0	0	2	0	0
希望内容を対話出来なかった	対話内容が難しかった	対話時間不足	シニアの話が長かった	その他

3. 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）

新しい知見が得られた	2	
マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった	0	
自分の将来の進路の参考になった	0	
教育指導の参考になった	2	
特に新しい知見は得られなかった	0	
その他（具体的には）	0	

4. 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

2	0	0	0
非常にある	ややある	あまりない	全くない

5. 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

2	0	0	0
勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	どちらとも言えない	その他

II 放射線・エネルギー・環境に関する意識調査

1. 放射線、放射能について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)放射線・放射能の危険性について伺います。

放射線、放射能は日常的に浴びており、一定のレベルまでは恐れる必要はない	2
放射線、放射能は量(レベル)に関係なく怖い	0

(2)放射線・放射能の生活における有用性について伺います。

医療関係等で利用されており、生活に有用であることは知っている	2
生活に有用であることは知らない	0

2. 電源について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)原子力発電について伺います。

必要性を認識しており、再稼働を進めるべき	0
必要性を認識しており、将来に向け、新增設、リプレースを進めるべき	1
必要性を認識しており、2030年目標（原子力発電20～22%）を達成すべき	1
危険だから、早期に削減または撤退すべき	0
分からない	0

(2)再エネ発電について伺います。

環境にやさしい電源であり、利用拡大を進めるべき	0
発電が天候に左右されるので、利用は抑制的にすべき	1
然環境破壊につながるので、利用は抑制的にすべき	0
分からない	1

3. カーボンニュートラルとエネルギーについて伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？

1	1	0	0
多いにある	少しある	あまりない	ない

(2)興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

温暖化メカニズム	0
温暖化の影響と対策	1
主要国の動向	0
エネルギー資源の確保	2
我国の環境・エネルギー政策全般	0
脱炭素化実現のためのコスト	1
脱炭素化の手段、方法論、道筋	1
脱炭素化の技術開発、イノベーション	0
地球規模リスクの管理方法	1
脱炭素化での日本、世界の産業界動向	0
これからの社会変化全般	1
原子力発電や再生可能エネルギーの役割	0
その他	0

(3)日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性についての見解を伺います。

実現するとは思えない	1
相当いいところまで到達する	1
分らない	0

(4)脱炭素に向けた電源の在り方について伺います。

原子力発電と化石燃料発電を最小とし、再エネ中心が望ましい	0
化石燃料発電を最小とし、原子力発電と再エネの組み合わせが望ましい	0
原子力発電、再エネ発電、化石燃料発電をバランスよく組み合わせることが望ましい	2
分らない	0

4. 高レベル放射性廃棄物の最終処分について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)地層処分について関心や興味がありますか？

0	1	1	0
多いにある	少しある	あまりない	ない

(2)あなたの住む地域や周辺地域で地層処分場の計画が起きたらどうしますか？

1	1	0
反対すると思う	反対しないと思う	分らない

(3)地層処分について興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

技術（地質環境評価、処分場設計、安全評価等）	1
制度（原子力基本法、最終処分法、安全規制等）	1
処分地の選定（文献調査、対話、地域振興等）	0
その他	0

□本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・環境問題について整理し直すことで、自分なりの意見や考え方が形成されたため、有意義な時間になったと感じた。
- ・知らない情報を多く得ることが出来、ためになりました。

アンケート結果の纏め

参加学生（2名）全員から回答を頂いた。

- ・「講演」は「とても満足」（2名）頂いたものの、一方で講演時間が長引き質問時間がほとんど取れなかったことから、「質問不足」の感があったようだ。また、「対話」は「とても満足」（1名）、「ある程度満足」（1名）で二人ともに満足して頂いた。「対話」においても「対話時間不足」（2名）が挙げられており、対話テーマに対する話題が豊富で内容も深いためか、また、学生の旺盛な知識欲のお陰か対話時間が足りないと感じたようである。シニアが我慢し、学生さんに話させることが肝要だが、分かっているながら実行することはなかなか難しい。
- ・電源については、原子力発電の必要性を認識し、再エネ発電のデメリットも理解して原子力、再エネ、火力をバランスよく組み合わせたエネルギーミックスが望ましいとの回答。
- ・全体を通しての感想では、「環境問題について整理し直すことで、自分なりの意見や考え方が形成されたため、有意義な時間になったと感じた。」「知らない情報を多く得ることが出来、ためになりました。」と好評であった。
- ・今回の対話会を契機に更にエネルギーについて考えて頂ける感想を頂いたことは幸いである。